

大名みえ子です

2016. 6. 30 No.328 (部内資料)
東海村村松 2401-2
電話・fax 029-284-0761



6月28日 東海村 iVil (アイヴィル) 前

小林きょう子さんが東海村で訴え

茨城県市民連合 村上達也氏 応援演説
28日(火) 16時15分から東海村産業・情報プラザ iVil (アイヴィル) 前で、政策と支持を訴えました。

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める「茨城県市民連合」共同代表の村上達也(前東海村長)さんが駆けつけ、「安倍政権に打撃を与える一番のインパクトは共産党が伸びること。共産党への1票は、よその党の3票にあたる。憲法を守る立場で一番がんばっているのは共産党。小林さんに1票入れて、立憲主義を守る国をつくっていかうではありませんか」と、訴えました。

最後に、司会から企業献金も政党助成金も受け取らない

唯一清潔な政党として、募金の訴えも行われました。募金箱には、村民の方々の「国民主権の政治を取り戻してほしい」との熱い思いを込めた募金が寄せられました。

ヒロシマ・長崎から世界へ 平和への祈り、今年もまた、

原水爆禁止 2016 年世界大会



今年の大会は、8月2日から4日まで広島において国際会議、4・5・6日が広島世界大会、8・9日が長崎世界大会と予定されています。

本村では、毎年、8月6日午前8時から45分まで、広島市平和記念公園で開かれる「平和記念式典」に、小・中学生を派遣しています。平和の尊さ、平和は、人々が力を合わせて守り発展させることが必要であることなど学んでほしいです。

今年の原水禁世界大会へ参加する方に、折り鶴を託したいと思えます。折り手募集中です。

原水爆禁止世界大会とは

1945年8月6日、9日ー広島・長崎に原爆が投下され、2つの街が一瞬にして、「地獄」に突き落とされました。広島、長崎ではその年のうちに約21万人もの尊い命が奪われました。しかし、原爆を使用したアメリカは、広島・長崎への原爆被害が世界に伝わることを恐れ、厳しい報道管制をおこない、実態は日本国民にも、アメリカ国民をはじめ世界の人びとにも知らされませんでした。

1954年3月1日、アメリカが太平洋ビキニ環礁でおこなった水爆実験によって日本国民は三度の原水爆による被害を受けました。ビキニ水爆被災事件をきっかけに、広島・長崎の被害、放射能による惨禍を広範な国民が知り、核兵器の廃絶を求める「原水爆禁止署名」が全国でとりくまれ、1年余で当時の有権者の過半数3400万に達しました。

こうした原水爆禁止を求める大きな国民の声を背景に、1955年8月、広島で第1回原水爆禁止世界大会が、翌56年には、長崎で第2回原水爆禁止世界大会が開かれました。

以来毎年、世界の人々と連帯して世界大会が開催されてきました。いまや核兵器廃絶は世界の大きな流れに発展しています。

